

## 大阪印刷産業人物故者納骨塔 建立40周年記念大法要

### 故人の冥福、遺族安泰、印刷関連業界の加護を祈願

昭和48年の完成から今年で建立40周年を迎えた大阪印刷産業人物故者納骨塔の記念大法要が8月18日、高野山印刷産業人物故者納骨塔奉讃会(吉田忠次会長)主催(協賛:大阪印刷関連団体協議会)により、高野山奥の院大霊園内において厳修された。当日は関連団体代表者や遺族、一般参拝者など、およそ170名が参拝に訪れ、納骨塔内で安らかに鎮まる故人の冥福を祈るとともに、遺族の安泰と印刷関連業界の加護を祈願した。

高野山大霊園の印刷産業人物故者納骨塔は、大阪印刷関連団体協議会加盟の団体が一体となり、昭和48年8月20日に建てられ、その日に開眼大法要が営まれた。以来これを記念して、毎年8月20日前後に「新物故者慰霊祭並びに納骨者・業界物故者追悼法要」を執り行っており、今回で40回目を数えることから、納骨塔建立40周年事業として執り行われた。

午前11時30分より報恩院の前官御房で

ある山口耕榮住職を導師として高僧5名を迎えて前讀、散華と法要は進められ、続いて吉田会長が「納骨塔は印刷業界全体の拠り所とされ、未来永劫の宿縁を結ぶことができるようにとの願いのもとに物故者のご芳名を記した芳名録を作成して故人のご冥福をお祈りしている。新仏の中には、長年組合運営に参画され、印刷関連業界の重要な役員として尽力された方々が多数おられ、大阪印刷関連業界が今日あるのは物故された方々の偉大な功績であると深く感謝しなければならぬ」との思いを述べた上で、「高野山が千古の霊場であるほか、弘法大師は我々印刷産業人に最も縁の深い文化人であり、高野紙、高野本の木版活字などで関係が深く、実に意義深い聖地である」とし、世界遺産にも登録された高野山の地で、改めて業界発展を祈念した。

また、厳冬の高野山で40年の風雪に耐えた納骨塔の維持・補修のための「特別寄進」について感謝の意を述べ、「新物故者慰霊



並びに納骨者追悼の辞」とした。

この後も、厳肅に法要が執り行われ、関連団体代表、遺族、そして一般参拝者焼香の長い列が続いた。

本年度慰霊祭物故者は、印刷業界が3名、関連業界が3名で、90歳代の方が1名、80歳代の方も3名おられ、ご長寿での活躍が偲ばれる。

なお、法要の後は建立40周年記念事業として改修工事が施された納骨塔内が公開された。



## 恒例の交流ビアパーティ開催 130名がビール片手に歓談

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)は8月27日、大阪・中央区の大阪キャッスルホテル内「中華料理 錦城閣」において恒例の交流ビアパーティを開催。組合員及び組合員企業の従業員ら130名が出席し、親睦を深めた。

会場では、夏の夕暮れに映える大川の川面を眺めながら、ビール片手に組合員企業の従業員同士が歓談する場面も見られ、和やかなムードのもと、参加者は暑い夏の夜のひとときを楽しんだ。

### 行事予定

- 安全から企業の元気を起こすセミナー  
平成24年10月2日(火)15:00~17:00  
大阪産業創造館 6階 会議室B  
講師:SMOコンサルティング代表  
社会保険労務士 岡本眞氏
- 企業診断から企画立案の活用案内  
セミナー

- 平成24年10月23日(火)15:00~17:00  
大阪産業創造館 5階 研修室D  
講師:SMOコンサルティング  
杉本友彦氏、松尾安蔵氏、岡本眞氏
- ゴルフコンペ

- 平成24年10月30日(火)8:24スタート  
飛鳥カンツリー倶楽部

- 競技方法:ダブルペリア方式  
当日会費:5,000円

- iPad講習会  
平成24年11月6日(火)15:00~17:00  
(株)モリサワ 本社4階 会議室  
講師:(株)ミチバタ・ジャパン・リミテッド  
代表取締役社長 道端俊彦氏